

〔奨 励 賞〕 仮想聴診シミュレータ「iPax」



代表取締役
藤木 清志 氏

株式会社テレメディカ

〒227-0062 神奈川県横浜市青葉区青葉台1-3-9

TEL. 045 (532) 4613

<https://telemedica.co.jp/>

「iPax」(アイパクス)は、オンラインで聴診の技術が学べる医学教育用のシステム。パソコンなどの画面上で体の部位を選ぶと、同社が開発した聴診教育用の専用スピーカー「聴くゾウ」から心音や肺音などを聴診器から聴くことができる。従来の聴診シミュレーターは、心音用や肺音用など用途別に分かれていて重量もあり持ち運びが大変だった。iPaxは一つのシステムで心音や肺音に加え、腸音の聴診や血圧測定、新生児聴診音の教育にも活用できる。



テレメディカは聴診教育用の専用スピーカー「聴くゾウ」で第30回中小企業優秀新技術・新製品賞の一般部門優良賞を受賞している。現在では国内医学部の7割以上に採用されてスタンダードになっているが「聴診部位と音の関係を教えたい」「脈を取りながら聴診したい」という要望に応えたシステムを開発した。

iPaxは心音と肺音を単独で再生したり同時に再生することができる。脈を取りながら聴診する機能も持たせることで、従来のシミュレーターと類似の教育がオンライン上で可能になった。

スマートフォンに対応しているため学生が必要なときにいつでも一人で練習できる上、学習履歴がサーバーに記録されるため、教員が学生の学習状況を確認できる。人工知能(AI)も搭載し学生に個別最適化した教育コンテンツを提示する機能もある。教員の負担を減らしながら教育効果を高めることにも役立つ。